



SCOUT CHIBA

スカウト ちば

平成19年度の目標
JUMP 2007

より良いスカウティングを
より多くの青少年に

発行：日本ボーイスカウト千葉県連盟
PR・コミュニケーション委員会
発行責任者：中川 義夫 編集長：上野 孝

〒263-0016 千葉県稲毛区天台6-5-2 千葉県青少年女性会館内
TEL 043-287-1755 FAX 043-287-1786

<http://www.scoutchiba.jp/>

	回数		隊数		団委員		指導者		スカウト		その他		計	
	登録数	前年度末数	隊数	前年度末数	指導者	前年度末数	スカウト	前年度末数	その他	前年度末数	計	前年度末数		
登録数	120	120	563	570	1,693	1,704	2,439	2,522	5,949	6,445	3	3	10,084	10,674

[加盟登録状況]平成19年12月末現在



アジア太平洋地域(APR) エデュケーショナルツアーで交流深まる

アジア太平洋地域内の重要なことを話し合う会議(第22回APR諸会議)が、このほど23カ国約540名が参加し国立オリンピック記念青少年総合センターで行われました。この折、参加者が会場を離れ日本のスカウト活動に触れ理解を深める機会を持ちました。北総地区では10月21日に、このうち約160名の参加者を野田市「ものしり醤油館」に案内、つづいて清水公園座生荘において歓迎夕食会を

開催しました。松戸第1団「鼓隊」の演奏でツアー参加者を迎え入れ、拍手喝采を受けました。茂木連盟長、鈴木理事長と野田市長の歓迎あいさつに続き、佐川北総地区協議会長の乾杯により会食が始まりました。そば職人が会場で打ったそばのメニューもあり、会食のお世話をした北総地区スカウト関係者とツアー参加者の交流も盛んに行われました。会食の途中、野田市の民族芸能『バツパカ獅子舞』が披露され、ツアー参加者の注目を集めました。閉会には「上を向いて歩こう」のソングを全員で合唱し別れを惜しみました。



平成19年度千葉県連盟ベンチャーフォーラム(19CVF)開催概要

19CVF実行特別委員会 委員長 南 正晃

●目的

従来からの繋がり(隊・地区・県連盟・日本連盟)をベースに、フォーラムを展開し、スカウト個々のリーダーシップ・メンバーシップ・フォローシップなどを取得し、理論を基に明確な自己表現ができるようにすることを目的とします。また、この活動の中で、標準隊(8人×4班)を組織し隊集会などを含む隊運営と小グループ活動の体験を併せて経験します。

●目標

スカウト活動の基本であるキャンプ(野営)

を行い、スカウトが自ら定めるテーマによりベンチャースカウトフォーラム宣言の採択を目指します。

●開催日

平成20年3月28日(金)～30日(日)

●開催場所

日本連盟那須野営場

●参加資格

ベンチャースカウト章を取得した高校生年代のスカウト

●参加スカウト

各地区から3名の代表スカウト



日本連盟那須野営場キャンプサイト

千葉県連盟 全ボーイスカウト隊・班長名一覧

地区別班長氏名・班名 班数250班

班長諸君! "Back to Troop"

千葉地区

千葉第1団	十枝 伸英	ワシ班
	大塚 将志	オオカミ班
	内山 大海	シロクマ班
	河野 祐輝	バッファロー班
千葉第6団	高橋 憲司	コブラ班
	伊藤 一成	バッファロー班
千葉第8団	慶田 知弥	ワシ班
	橋爪 宗太	シロクマ班
	村上 陽祐	ライオン班
	坪谷 大輝	トラ班
千葉第9団	石出 巧紀	コンドル班
	山口 仁大	トナカイ班
	渡邊 祐亮	ライオン班
千葉第13団	西東 志織	タイガー班
	大森 秀人	バッファロー班
千葉第14団	寺田 夏樹	イーグル班
千葉第15団	石川 駿	ハヤブサ班
	吉澤 光恵	コブラ班
千葉第18団	白石 禎晶	タカ班
	宮下 誠	コンドル班
	志村 裕也	バッファロー班
	相澤 悠	ウルフ班
千葉第21団	高橋 徹人	イーグル班
	田中 遼	アウル班
	野村 崇明	トナカイ班
千葉第22団	三河 悠苒	トラ班
	植月 聡一	ライオン班
千葉第24団	相馬 茜希子	鷹班
千葉第25団	吉田 雄	スネーク班
	佐藤 俊介	ふくろう班
千葉第26団	片山 徳行	ワシ班
	田淵 賢人	狐班
千葉第27団	安河内 直毅	フクロウ班
	米澤 堯	ツバメ班
	長田 遥	ワシ班

船橋地区

船橋第1団	畑 雄揮	おおかみ班
	牧山 亮介	イーグル班
船橋第3団	鈴木 悠太	ドラゴン班
	川崎 拓	ハヤブサ班
	遠藤 義晴	ライオン班
船橋第5団	岡部 篤	ライオン班
	松井 龍汰	フクロウ班
船橋第6団	斎藤 孝祐	イーグル班

船橋第7団	中澤 雄介	オオカミ班
	岡安 利佳	嵐班
船橋第8団	山田 真也	クマ班
船橋第9団	齋藤 拓夢	わし班
船橋第10団	北原 晃毅	オオカミ班
	中山 優	コブラ班
船橋第11団	原田 未来	ライオン班
	安部 涼平	トナカイ班
船橋第12団	秋津 優威	コンドル班
	池田 元気	ベガサス班
	熊田原 果奈	スカイ班
船橋第14団	西澤 侑輝	ハヤブサ班
	山本 隆大	フクロウ班
	三浦亮一郎	トナカイ班
船橋第15団	伊庭 将史	ジャガー班
船橋第16団	川口 拓未	オオカミ班
船橋第17団	鍋田 大明	ワシ班
	濱田 翔子	ハヤブサ班
船橋第18団	皆川 友樹	フクロウ班
船橋第20団	中川 恵介	ジャガー班
	長谷川将之	サンダー班
船橋第22団	丸山 雅紀	イーグル班
船橋第23団	新澤 到	FLAME班
印西白井第1団	平石 巧	イーグル班
	石垣 理生	コブラ班
	泉二 玲緒奈	ハヤブサ班
印西白井第2団	佐藤 文美	バンダ班
	大瀧 裕太	トナカイ班
	小野満 風斗	セバード班
	降矢 将太	ハヤブサ班

東葛地区

柏第1団	川副 有香	ホーク班
	那良 圭介	ウルフ班
	大倉 成	フェニックス班
柏第2団	今泉 佑斗	ウルフ班
	坂本 瑞樹	イーグル班
柏第3団	宇都宮沙紀	シェパード班
柏第4団	中川 知樹	コブラ班
	増田 海	イーグル班
柏第5団	新井 雅知	ワイルドダック班
	島田 なつみ	トンビ班
柏第6団	小池 晶大	ジャガー班
	高橋 幸佑	ふくろう班
柏第7団	小和田 諒	しか班
	池田 将司	しろくま班

柏第9団	中村 広樹	ハヤブサ班
	竹森 友哉	フェニックス班
	浅川 尚也	アルバトロス班
柏第10団	貝吹 幸作	ふくろう班
	矢野 将吾	イーグル班
我孫子第1団	太根 大生	つばめ班
我孫子第2団	篠宮 花奈	シロクマ班
	洞毛 晃保	コブラ班
	武蔵 美和	オオカミ班
我孫子第3団	廣嶋 駿	クジャク班

北総地区

野田第1団	中村 優太	プレイボーイ班
	小林 のどか	ピラニア班
野田第2団	石川 昌典	わし班
野田第5団	大淵 大樹	ダークホース班
	山田 彰英	イーグル班
野田第7団	船橋 和真	イーグル班
	武田 愛海	タイガー班
流山第2団	田中 悠也	イルカ班
	関田 竜馬	コブラ班
流山第3団	鈴木 隆宏	コブラ班
	阿部 拓也	タイガー班
	砂田 香織	ハムスター班
流山第4団	辻 一樹	とら班
	阿蘇 愛理	そう班
流山第5団	小島 涼	ホホワイトベア班
	小山 大輔	キツツキ班

松戸・鎌ヶ谷地区

松戸第1団	福島 郁	イーグル班
	田中 友佑	タイガー班
松戸第2団	山口 健志郎	スワロー班
	加藤 悠一	イーグル班
松戸第4団	竹内 茉莉花	ワシ班
松戸第5団	松川 雄樹	ウルフ班
	森 優	ハヤブサ班
松戸第6団	平池 真美	スワロー班
松戸第7団	永嶋 裕也	ライオン班
松戸第8団	高島 政輝	ウルフ班
	秋山 隼一朗	フェニックス班
松戸第9団	渡辺 摩周	ドラゴン班
	細谷 遼太	ライオン班
松戸第10団	星野 浩大	コブラ班
	齊藤 大輔	ハヤブサ班
松戸第11団	那須 奎太郎	スノーイーグル班

班長諸君、きみ(あなた)は班の仲間達から信頼されて選ばれ、班長に任命されました。
 きみ(あなた)の班を、次長と協力して班の仲間達をリードし元気な楽しい班にして下さい。
 ベーデン-パウエル 次の言葉を、きみ(あなた)はどのように受け止められるかな。
 「班とは、定まった少人数のグループであって、どの班も一人の責任をもった『指導員』によって受け持たれるものである。これが成功への大きな第一歩になる・・・ベーデン-パウエル」
 この『指導員』=『班長』こそきみ(あなた)です！

班名ベスト10

1	イーグル班	22
2	ハヤブサ班	18
3	わし班	16
4	コブラ班	15
5	トナカイ班	12
6	フクロウ班	11
	ライオン班	11
8	白くま班	10
9	ウルフ班	9
	オオカミ班	9

鎌ヶ谷第1団	曾根 一章	ハヤブサ班
	山岸 恒平	コブラ班
鎌ヶ谷第2団	太田尻晋之介	ライオン班
	木崎 尚也	スワロー班
	佐々木 瑞峰	タイガー班

東金第1団	高宮 伸太郎	ホホワイトベアー班
	椎名 亮太	コンドル班
	布施 貴政	ワシ班
大網白里第1団	佐々木 菜	ホホワイトベアー班
	田村 有理枝	イーグル班

浦安第2団	佐藤 克哉	ウルフ班
	渡辺 将来	コブラ班
	辻 裕美	イーグル班

香取東総地区

香取第1団	金子 義英	シロクマ班
	石原 暁	ワシ班
香取第2団	郡 綾也香	ウグイス班
	塚原 佑希子	トナカイ班
	花香 遼	コブラ班
	東條 勇氣	ライオン班
香取第3団	高木 亮輔	野牛班
	栗山 拓己	たか班
銚子第2団	寺内 颯	シロクマ班
	田村 樹里	トナカイ班
銚子第3団	日方 章紀	ハヤブサ班
	高神 元輝	イノシシ班
旭第1団	斎藤 瑞樹	ハヤブサ班
	小嶋 泰晶	トナカイ班
旭第2団	向後 香澄	ハヤブサ班
	菱木 理子	トナカイ班
匝瑳第1団	荒木 祥行	コブラ班
	間瀬 湧大	ハヤブサ班
	会田 寛貴	オオカミ班

南総地区

木更津第2団	水野 翔太	タカ班
	泉 伊智郎	クマ班
	平野 太樹	ワシ班
木更津第3団	前田 成貴	シロクマ班
	長岡 殊未	コブラ班
君津第2団	日高 大	シロクマ班
	細野 藍響	ツバメ班
	鈴木 雅稀	カモシカ班
	堀内 貴生	ハヤブサ班
君津第3団	三枝 なつみ	タカ班
	吉住 友貴	バファロー班
袖ヶ浦第1団	栗山 智宏	スネーク班
館山第1団	櫻井 一毅	インディアン班
	太田 明宏	山猫班
鴨川第1団	正木 慶太	カワセミ班
鴨川第5団	上田 宏	ワシ班
	北浦 早紀	ウグイス班
富津第1団	丸久 美子	タカ班
	岩本 瑞希	フクロウ班

八千代・習志野地区

八千代第1団	大畑 暁	ソウ班
	島田 健太	ツバメ班
八千代第2団	深瀬 喬俊	ホークス班
	向後 拓	イーグル班
	安達 凌成	ペリカン班
八千代第3団	加賀 智	タイガー班
	轟 龍馬	イーグル班
八千代第4団	大井川 新	ハヤブサ班
	仙田 歩	ホホワイトタイガー班
	滝本 千明	ウルフ班
八千代第5団	矢代 智之	イーグル班
	大場 圭介	シェパード班
習志野第1団	野口 陽平	イーグル班
	高橋 優	トナカイ班
習志野第2団	瀧澤 竜太郎	シェパード班
	小林 雅行	ふくろう班
	相川 幸也	かもめ班
	牧之段 洋輝	コブラ班

上総地区

市原第1団	植田 優輔	ふくろう班
	長縄 祐美子	ひょう班
	柴野 鮎香	わし班
市原第3団	長谷川 智	イーグル班
	長尾 鷹裕	オットセイ班
市原第5団	御園生 大	ワシ班
	高島 清	ウルフ班
市原第6団	小沢 怜	白くま班
	地挽 友里奈	ワシ班
市原第7団	牛島 優里	トラ班
	山崎 織愛	バツファロー班
	河内 治美	しろくま班
茂原第2団	伊藤 巧	タイガー班
	藤田 花菜	ホホワイトベアー班
	高橋 千晶	イーグル班
	宮原 慎也	ライオン班

市川・浦安地区

市川第1団	大作 健太	野牛班
	太田 勇士	りす班
市川第2団	湯浅 良彦	コンドル班
	松丸 礼子	タイガー班
	前田 武志	トナカイ班
市川第3団	平光 雄貴	アポロ班
	高橋 遼平	コンドル班
	松崎 真輝	バツファロー班
	高橋 拓也	レオ班
市川第5団	芦田 智季	イーグル班
市川第6団	及川 茂之	ツバメ班
	横川 純一	オオカミ班
	堀江 優貴	トラ班
市川第8団	朝陰 大樹	ハヤブサ班
浦安第1団	藤田 一晶	ハヤブサ班
	臺原 誠	シェパード班

印旛地区

佐倉第1団	黒川 拓郎	パイレーツ班
	相澤 幸人	ホログラフドゴン班
佐倉第2団	上窪 一慶	ウルフ班
	竹村 雄治	フクロウ班
佐倉第3団	島野 晃正	ゴールデンイーグル班
佐倉第4団	松本 隆哉	トナカイ班
	荘司 賢司	ホホワイトイーグル班
成田第1団	下村 哲志	オール班
	福田 祥平	ウッドベッカー班
四街道第1団	富塚 隆宏	ワシ班
	伊藤 良将	コンドル班
四街道第2団	西村 修一	とら班
	上代 傑	つばめ班
富里第1団	岡村 直記	ワシ班
	吉田 麻代	リス班
酒々井第1団	森山 博仁	オオカミ班
	小泉 有祐	ハヤブサ班
八街第1団	大西 貴丈	ブラックバード班
栄第1団	灘波 啓乃	レイル班
	曾根 雄介	ホホワイトベア班

第17回 千葉県カブラリー 開催のお知らせ

見てふれて聞いて

— なかまと未来の風を感じよう —

バック集まれ この指とまれ!

カブスカウトのみんな、まちにまったカブラリー開催のお知らせです。

3年に1回開かれる「第17回 千葉県カブラリー」が、平成20年6月1日(日)に千葉市の西に位置する、幕張新都心を中心に開催されます。

幕張新都心は、東京湾を埋め立てて広げた場所に作られた新しい街で、仕事や展示場を中心とした区域、食事や買い物・ホテルを中心とした区域、色々な学校の集まった区域、人々が暮らす住宅区域に分けられています。

今回のカブラリーでは、「おともだち隊」と一緒に幕張新都心のいろいろなところをたずねて街歩きと探検をします。新しい街では、いろいろな形のビルや、街の中の彫刻(モニュメント)、都会の公園にも色々な鳥や生き物が生活している様子や、街の人々とのふれあいを楽しんでください。それから、古くからの街も



第16回千葉県カブラリー全体集会

あって、そこでは家やお店のようすも新都心とはちがっているかも??それに、「そうだったのかあ」とみんなが思う場所もありますよ。組集会で、自分が住んでいる場所の探検をしておいて、比べてみると、ずっと楽しいカブラリーになることでしょう。

「見て・ふれて・聞いて」たくさんの中かまと一緒に未来の風を感じてください。

行き帰りの電車やバス、街の中での行動など、隊リーダーの注意を守り、安全で楽しいカブラリーにしましょう。

「第6回 災害準備大作戦」

開催予告

平成20年4月13日(日)



非常用トイレ群 囲いをして簡易トイレ

第6回災害準備大作戦を行う「中原ふれあい防災公園」は柏市が平成13年から3年間をかけて整備した最初の防災公園です。住宅地のなかにあり以前は牧場でした。この広い敷地が平常時は自然と触

れあえる近隣住民の憩いの場になっています。しかし災害の起きた非常時には緊急避難場所となります。公園内には耐震性の地下貯水タンク、かまどに変身するベンチ、非常用トイレ、防災井戸、災害時に使用する機材の倉庫などを備えており、公園中央にはヘリポートがある広さ4.8ヘクタールの防災公園です。

この防災公園を全面的に使用するのは今回の訓練が初めてです。

今回の訓練にはボーイスカウト関係者ばかりでなく柏市や近隣の方にも参加を依頼しております。

災害準備大作戦の目的は災害支援時の基本的支援技能向上および支援知識の習得と被災時の実体験をします。そのための訓練プログラム内容は

- ①ロープコーナー ②大量吹き出しコーナー ③発電機コーナー ④チェーンソーコーナー ⑤浄水器コーナー ⑥ジャッキコーナー ⑦AED(心臓に電気ショックを与える医療機器)コーナーとそのほか起震車、ICT(県連盟のアマチュア無線局)見学などが準備されます。

参加者は組分けされて3つのコーナーを習得します。また一般の方も希望次第では体験をしていただくコーナーを作る予定です。現地対策室長の萩野地区委員長はじめ災害準備大作戦担当委員が力を合わせて来る日に備えております。

東葛地区広報担当 宮村

わが地区自慢のキャンプ場紹介

「木間ヶ瀬キャンプ場・北総地区」

千葉県最北端の地、利根川と江戸川に挟まれたところに位置するボーイスカウト野田第7団の野営場です。地名からとった名前、「木間ヶ瀬野営場」と大きく書かれた看板が掲げられたこの場所は、広さ約2000坪、団委員と育成会が協力して木を伐採し作り上げた、手作りの野営場です。大きな集会広場や、丸太で囲まれた営火場、ログハウス風の研修棟(中で火を焚く事も可能)、使いやすい炊事棟など、どれも全て手作りのです。大きな樹もたくさんあり、夏にはクワガタやカブトムシを秋にはどんぐりや山栗などを見つける事が出来る森の中のキャンプ場という雰囲気です。

この素晴らしい野営場は、他団のご利用も可能となっています。詳しくは、野田第7団団委員長までお問い合わせください。野田第7団ホームページ上でもスカウトハウスのご案内をしています。



キャンプ場データ

- 所在地: 千葉県野田市木間ヶ瀬872番地
- 交通: 国道16号中里立体交差点を境方面(県道結城野田線)へ約3.5km宝珠花上町バス停を右折約1km。右側に案内看板あり。
- サイト: 土(直火可)
- 設備: 駐車場(約18台)・集会広場(国旗掲揚柱あり)・営火場・研修棟・炊事棟(水質検査済み井戸水)・トイレ(3)

宗教章取得スカウトの体験談

仏教章取得の報告

南総地区 袖ヶ浦第1団 ベンチャー隊 野中 美紀

宗教章を取得したいと考えた時、千葉県には家の宗派である浄土真宗の教導職の方がおられなかったため、地区信仰奨励委員長に相談して、京都、西本願寺のスカウト担当の方を紹介して頂きました。その結果、東京の築地本願寺で2回の仏教章取得事前研修を受ける事ができました。築地本願寺では通常何日かに分けて行う勉強を2日間で行うため、一日7時間の研修でした。12月には静岡県島の三島で2泊3日の研修に参加しました。開会式の

後は、宗教や浄土真宗についての研修を受けました。研修中は班ごとに1日3回のお勤めがあり、読経などを行います。研修終了後の奉仕活動は、自宅から近い狸ばやしで有名な證誠寺にて行いました。奉仕活動以外にも宗教についてのお話を伺う事ができて有意義な活動ができました。

築地本願寺では、最初に「なぜ宗教章を取得したいのか」と質問されました。私は「富士章を取得するためには宗教章が必要だから…」と考えていましたが、教導職

の方から「富士章を取得するための宗教章ではなく、宗教章を取得したから富士章にチャレンジできる」。そのような姿勢で取り組んで欲しいとアドバイスを受けました。実際に取得した今思う事は富士章を取得する事も名誉な事ですが、宗教章は人として心に通じる大切なものなのだということです。宗教章は取得して終わりではなく、始まりだと考え、これからも信仰心を大切にしながら、スカウティングを続けて行きたいと思います。

神道章取得に思う

香取東総地区 香取第2団 ベンチャー隊 香田俊介

私がなぜ神道章を取得しようと思ったかと言うと、それは所属する隊の活動拠点^{きよてん}が神社の中にあつたということが大きいと思います。私が所属する佐原第2団(現香取第2団)は香取神宮という日本有数の神社の境内で活動しています。境内はとても広く、自然が豊かで、幼い頃からよく境内の自然の中で遊んでいたことを覚えています。

ボーイスカウトに上進してからも境内でキャンプをしたり、仲間と共に自然の中で多くのことを学んでおりました。そして、

境内で活動している中で私は何とも言えない神聖な空気を常々感じておりましたが、まだ神道についての知識もあるわけではなく、ただ不思議に思っておりました。

中学に入り徐々に本を読むようになり、また宗教問題が大きく取り上げられていたこともあり、日本の宗教について学ぼうと思ひ、様々な宗教関係の書物を読みまし。そして、今まで知ろうとも思わなかった日本の神道も学びたいと思うようになり始め、友達と共に神道章を取ろうと考えま

した。神道章を取るために玉串奉てんのやり方を学んだり、神社の歴史を調べたり、神社の境内の掃除^{しんどう}をしたりしている内に、日本伝統の中の神道などを深く感じ、自然の中や日本人の心の中に存在する神^{しんどう}というもの^{しんどう}を初めて知りました。

神道章に挑戦し取得したことにより、現代の日本人が中々感じることでできない、神道の世界の神々を知ることができたと思っています。

キリスト教と平和

千葉地区 千葉第13団 ローバー隊 加地 良太

キリスト教章の取得には、毎日曜の教会礼拝への参加が必要である。教会生活そのものがキリスト教の信仰となるからだ。そのなかで、ある日の説教の中で戦争当時についてのお話があった。また、教会でのあらゆる説教、勉強会でも戦争や平和にかかわるものが多いことに気がついた。靖国神社に関する問題についての勉強会がおこなわれたり、憲法9条改正反対の立場を常日頃唱えていたりしていた。そこで、いろいろキリスト教について勉強してみると、キリスト教信者は平和を主体的に

作り上げていく、引っ張っていく存在であることに気づいた。

まず、キリスト教において重要なのは、「責任の主体性を持った人間の形成」という点である。自分の心と頭と体で何が正しいことなのか、何が人を生かし自分も生かされることなのかを責任的に判断し、行動するように成長させられる。

そしてイエスは「平和を実現する人は幸いです」と言われた。ここに福音の中核がある。その平和の実現のために、人が責任の主体として形成されること—これが

キリスト教が自覚的に引き受けるべき使命である。

21世紀においてはキリスト者は、よりいっそう平和に対するリーダーシップをとっていくようにしなければならない。現代におけるキリスト教の存在意義はそこにあるように思える。キリスト教が平和を引っ張っていかずに誰か引っ張っていか。僕はキリスト教の教会生活をわずかながらでも学んだものとして、この平和に対して深く考えていかなければならないと思った。

日本連盟が定める5つの宗教章



ゲット!! 富士章・千葉県連盟隼章・菊スカウト章 取得スカウト

平成19年8月26日～平成19年12月22日

富士章				千葉県連盟隼章				菊スカウト章				菊スカウト章			
石松 純	流山	3	団	伊藤 聡志	木更津	3	団	清水 志桜	佐倉	2	団	平井 将就	松戸	9	団
加地 良太	千葉	13	団	青木 崇	茂原	2	団	伊藤 智樹	千葉	21	団	原井 亮	鎌ケ谷	1	団
谷口 智洋	千葉	25	団	麻生 健	茂原	2	団	藤田 聡	千葉	21	団	船橋 和真	野田	7	団
山田 大介	千葉	9	団	和田麻央人	船橋	9	団	山田 瑞季	酒々井	1	団	清水 悠介	千葉	8	団
								小泉 光佑	酒々井	1	団	鈴木 悠太	船橋	3	団
千葉県連盟隼章				菊スカウト章				佐伯龍之介	船橋	1	団	川崎 拓	船橋	3	団
西川 侑那	市川	3	団	小池 庸平	四街道	1	団	村田 一樹	浦安	1	団	新井 雅知	柏	5	団
谷口 智洋	千葉	25	団	山口 恭平	四街道	1	団	安藤 優介	千葉	18	団	渡辺 摩周	松戸	9	団
								原蘭 陸正	柏	6	団				

アマチュア無線(JOTA)とインターネット(JOTI)でジャンボリーに参加

10月19日(金)午後10時から始まった、第50回ジャンボリー・オン・ジ・エア(JOTA)、第11回ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)に今年も千葉県青少年女性会館に、アマチュア無線局(JAIYSS/1)の開設と10台のパソコンを設置してスカウトに参加する機会を設けました。

この行事は 世界スカウト機構(WOSM)が主催する伝統ある公式国際行

事で、スカウトがアマチュア無線とインターネットを利用し、国内各地や外国のスカウト仲間と交流し、お互いを理解し、知識と友情を深めることを目的としています。JOTAは50年目、JOTIは11年目を迎える伝統的な行事です。毎年10月の第三週末に開催し世界中から50万人以上のスカウトが参加しています。個人でもグループでも誰でも参加できます。県連盟ホームページICT研究会コーナー等で詳細を知ることができます。



JOTI 掲示板に書き込むスカウトたち

参加スカウトの感想

千葉第25回カブ隊 杉下 舞

はじめは「むずかしそうだなー」と思いましたが、無線局の免許をとってはじめての無線交信だったので、リーダーに教えてもらいながら、ゆっくりとはじめはお父さんと交信した。少し緊張しましたが終わりにはずっかりなれました。



カブスカウトもパソコンで情報発信

千葉第1回ボーイ隊 福田 周平

ぼくはJOTA/JOTIを見るまでは、何のことか知りませんでした。インターネット通信でポルトガルのスカウトの声を聞いたり、JOTIでは愛知県のスカウトとインターネット掲示板を通じて話をしたりしました。遠くの人と会話ができることにビックリしました。

千葉第1回ボーイ隊 内山 大海

JOTA/JOTIは去年も見学しました。今年は去年よりも多くの地域のスカウトと話が

できて良かったです。JOTAの見学では無線交信をしているところを聞いてよかったです。自分もアマチュア無線の免許に挑戦したくなりました。

栄第1回ボーイ隊 難波 啓乃

JOTA/JOTIでは世界中で同じにやっていることを知ることができてよかった。普段使うことのないモールス(信号)を使ってみたり、インターネットを使っていろいろな人と話すことが出来おもしろかったです。

栄第1回ボーイ隊 曾根 雄介

JOTA/JOTIは去年も参加しました。今

年はインターネットを使ってたくさんの書き込みができました。とても楽しかったので来年も参加したいと思います。



モールス発信機の練習に興味深々

はっけん伝 プロジェクトに挑戦!

ベンチャースカウト部門では、プロジェクトという新しいプログラムが追加されます。プロジェクトとは、自分のやってみようという事について、自分で目標を設定して、その目標を達成するための方法やスケジュールを立案して、それを実施して、その結果目標をどれだけ達成できたかを評価することです。

自分で目標を立てて、その実現に向けてどうすれば良いか考えて行動する訓練を、どうしてベンチャースカウト部門で追加するのでしょうか？一つは社会人になった時に、仕事をする上でプロジェクトのスキルが絶対に必要だからです。もう一つは人生も、プロジェクトそのものだからです。君の一生の財産となるスキルはベンチャースカウト、ローバースカウト活動を経験してこそ身につきます。ボーイスカウト隊までの活動は実り多きベンチャースカウト、ローバースカウト活動のための基礎訓練として位置づけられます。さあ一緒にプロジェクトに挑戦しようよ!

市川・浦安地区コミッショナー 針谷 誠一

県内各地区の隊活動便り

2007年ビーバー合同隊集会

東葛地区 副コミッショナー 高橋 雅彦

11月4日(日)、恒例の東葛地区ビーバー合同隊集会が、柏市の増尾城址公園において開催されました。

秋らしい好天に恵まれ、タイトル「にんじゃでござる」のもと、楽しく遊びました。

ビックビーバー上進直後ですが、お友達を含めたスカウト69名、隊指導者39名、保護者32名、地区指導者8名、総勢148名が参加、にぎやかな集会となりました。

地区役員さんには救護所などの支援を頂き、安全にも配慮いただきました。まず、地区内12隊を3合同隊に編成、各隊の副長さんが経験のために合同隊隊長となりました。スカウトは黒いゴミ袋を利用して作った服に身を包み、「忍者修行」の4コーナーに向かって、「いざ出陣」です。張り巡らされたロー

プの中を進む《くもの巣ぐり》、忍者が次々と謎の音をくりだす《音のとりで》、工作を織り交ぜた《折り紙手裏剣》、ロープで必死で登った《かけのぼり》と、どのコーナーも、各隊指導者が工夫を凝らしたゲームコーナーが展開され、公園はスカウトらの歓声にあふれました。《かけのぼり》の後はご褒美のおやつ「あめ」をもらいました。

最後は、城址頂上で、この集会テーマ曲「げんきなななまき」を大きな声で歌い、保護者のみなさんから、たくさんの方の拍手を頂き「修行」が無事終えることができました。



「秋を見つけるハイキング」に出かけました

南総地区 袖ヶ浦第1団カブスカウト隊長 野中 浩章



今年発隊30周年を迎えた袖ヶ浦第1団カブスカウト隊です。袖ヶ浦市は海と森と自然に恵まれたスカウト活動にはまさに最高の市です。

先日は、入隊式を終えた新入隊員を迎えて「秋を見つけるハイキング」に出かけました。出かける前に秘密のお楽しみを準備して、いよいよ組ごと、コマ地図を手に出発です。袖ヶ浦公園の周辺を歩きながら赤や黄色に色づいた紅葉、少し冷た

い秋の風、それぞれが色々な秋を発見しながらのハイキングです。組集会で勉強した追跡サインをたどって、目的地に行きゲームや工作を行いました。

ハイキングで頑張って歩いた後はお楽しみがまっています。さて何でしょうね・・・こんどはくいしん坊の袖ヶ浦第1団のカブ隊らしい秋を楽しむおやつです。ハイキングに出発する前にさつまいもを鍋にに入れて沸騰させて新聞をしきつめた発泡スチロールの箱に入れて置いたのです。

2時間のハイキングから戻ってくると ホカホカのお芋が待っている仕掛けでした。

おいしいお芋をみんなで食べた後は紅葉した落ち葉や小枝を使って作った工作のコンテストです。ね・・・食欲の秋ばかりじゃなくてちゃんと芸術の秋も楽しんだんですよ

スカウト達は何が一番楽しかったのかな・・・秋のハイキングかな食欲の秋かな芸術の秋かな 歩くのが大好きな元気な子 食べるのが大好きくいしん坊 将来のピカソみたいな芸術家 それぞれが楽しくすごした秋の一日でした。

現在2組11名の活動ですが、これからも活動をアピールしてもっと仲間を増やしていきたいと思います。

恒例50kmハイク

北総地区 流山第5団ボーイスカウト隊副長 藤嶋 加奈

流山第5団ボーイスカウト隊で継承されている恒例行事といえば50kmハイクです。今年も12月9日早朝集合、班の目標を確認しパトローリングの実践を掲げスタートしました。例年より少し暖かい好天の中、筋肉痛、足の裏の水ぶくれ等に苦しめられながらも、夕刻順調にスカウトの森に到着し、スカウト全員50kmを完歩しました。

救急法の講習をおえたベンチャースカウトが救護班および上級班長としてサポート、隊リーダーはもちろんのこと無線クラブ、団委員がバックアップしました。

ボーイ隊のスカウトは入隊から毎年50kmを歩き、上進までに4回計200kmを歩くことになります。小学校5年生から中学校2年生までのこの時期は、体力精神力の成長もめざましいものがあり、初年度は先輩に荷物を持ってもらい泣きなが

らゴールしていたスカウトが、年を追うごとに、装備が洗練され、体力もつき、後輩スカウトの面倒をみられるまでになります。これは見守るこちらだけでなく、スカウト自身が自らの成長を実感できる貴重な機会となっています。また50kmの難関は一人で向かうのは困難で、スカウトの力が集結し、大人のサポートがあって実現出来ることと思います。

スカウトハウスで保護者の皆さんからの温かいスープ、お菓子、飲み物で迎え入れられたスカウト達の顔は達成感で輝いていました。この経験は大人になってもスカウト達の胸に残ることでしょう。



第4回 軽度発達障害勉強会 報告

千葉県連盟 健康安全委員長 南 正晃



心理療法士の越森誠氏(市川第2団ボーイスカウト隊長)の講義

平成19年10月28日(日)市川学園多目的ホールにて「第4回軽度発達障害勉強会」が、ボーイスカウト関係者65名・一般6名・奉仕者24名の参加を得て行われました。

午前中は、肥田クリニック院長肥田裕久先生より、「精神障害を考える上でのポイント」「ADHDとは アスペルガーとは」と題しまして医学の見地よりの講義がありました。精神医療には「検察官的アプローチ(原因探し、犯人探し、処罰をあたえる)」と「弁護士のアプローチ(繰り返さないためにはどうしようか)」の二通りのアプローチがあること。子供の精神保健を考える際の留意点。

広汎性発達障害(自閉症)は、「多様な領域における発達の質的な歪み」があり、自閉・同一性の保持・言語発達障害・反響言語(おうむがえし)などの症状があること。注意欠陥多動性障害(AD

HD)は、多動・注意散漫・手先の不器用さなどの症状があるが、症状の多くは思春期以降に消滅すること、そのための対応支援法の基本はほめること、など多くの勉強になる話でした。

午後からは、心理療法士の越森誠氏(市川第2団ボーイスカウト隊長)より、「子供たちの現状」「子供たちへの支援法」「私たちの出来ること」の講義がありました。支援し目立たなくするためには、回数と時間が必要であること。こどもやスカウトへの関わり方の視点として、「秘密の厳守・安全の確保・傾聴と受容」が大事であり、「ほめ方」「叱り方」「大人として注意すべきこと」「日常の注意すべきこと」についての具体的な説明の後、最後に「心をこめて」「人生はリカバリーできる」の言葉をいただきました。

終了後のアンケートでは「子供たちへのかかわり方に勉強になった」「このような勉強会を増やして欲しい」など多くの意見が寄せられた勉強会でした。



肥田クリニック院長 肥田裕久先生

新 地区だより



船橋地区

行政・地域との共生のスローガン

「市民と共に躍進するスカウト！」

当地区では、船橋市内全域に18個団及び、平成12年4月に印西市、白井市を中心にした活動団が改名し、後に分封して印西白井地域に2個団の登録をみて「船橋地区 20個団」の規模で構成されています。

1964年の地区発足後、45周年を目前に控え1,519名(12月末現在)の登録数で活動しています。ピーク時には、総数2,300余名もの年度登録数を誇った記憶も、やはり時と共に少子化の減少傾向に見舞われて来ました。



小学校でも1クラス20余名の児童数で、中には2クラス編成さえ危ぶまれる地域が存在すると心配され続けて来ましたが、最近になって地区内にも宅地造成の条例緩和と共に、住宅建設やマンション建設に勢いが出て来て、地域バラつきが顕著とは言え、団によっては明確に減少が止まり、3桁の構成人員も目前の団が数個団現れて来ています。

地区運営では、役員34名で携わり、地区コミッショナーグループ9名で地区コミッショナー会議を開催、隊指導者関係では参加人員数の関係で開催日時・会場等を担当ごとに区分設定し、担当副コミッショナーを中心にラウンドテーブル等に携わって活動しています。

創始100周年記念事業では、20個団を召集して「地区B-P祭」を実施し、隊によっては「サンライズセレモニー」や伊豆大島の友好団を訪問後、単独隊で「甕れ、ブラウンシー島100周年記念キャンプ」を実施終了しました。このことは活動報告にもあがっています。

編集後記

「地区だより」は第54号の船橋地区/千葉地区から数え、足掛け4年で一巡いたしました。

各地区の所在地情報はもとより、沿革などにまつわるエピソードなど貴重なお話を、お伺いすることができたと思います。

一巡したところで、新たな企画を、とのアイデアがなかったわけではありませんが、今まで以上の期待をこめ、「新・地区便り」として、最新の地区情報を掲載してゆくことになりました。

あわせて、新シリーズ企画として「わが地区の自慢のキャンプ場」(仮称)をスタートいたしますのでご期待下さい。

編集長 上野 孝

	団数	隊数	団委員	指導者	スカウト	計
登録数	20	94	283	379	857	1,519

(加盟登録状況)平成19年12月末現在